

共同運営部門：がん治療センター

一概要一

がん治療センターの活動の一貫として、「がん治療検討委員会」を開催している。本委員会は、がん治療全般における円滑な治療の遂行及び薬物治療に関して適正な管理を行うことを目的としている。

「がん治療センター」は日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本乳癌学会をはじめ、各領域の悪性疾患治療に関する学会の指導医、専門医、認定医を配している。化学療法、分子標的治療等薬物治療に関する臨床試験に多数参加し、胸腔鏡、腹腔鏡などの低侵襲手術も積極的に行っている。その他、低侵襲治療として原発性および転移性肝がんに対するラジオ波焼灼療法だけでなく、早期乳がんに対してもラジオ波焼灼療法を研究的治療として前方視的臨床試験等に登録し行なっている。

また、各種がんの診断治療においては、治験や全国規模の臨床試験に深く関与しており、エビデンス構築に貢献している。これらの実績を基盤とし、従来行なわれている進行癌に対する集学的治療に加え、早期癌に対する新たな薬物治療、手術治療等に関しても、先進的な診断・治療を積極的に取り入れ、医療の質の向上に貢献している。また診断、治療方針を決定し難い症例を中心にカンサーボードにて多数の診療科専門医をはじめ、多職種による検討を積極的に行っている。血液がんに関しては、骨髄移植が再開され適応症例に対応している。

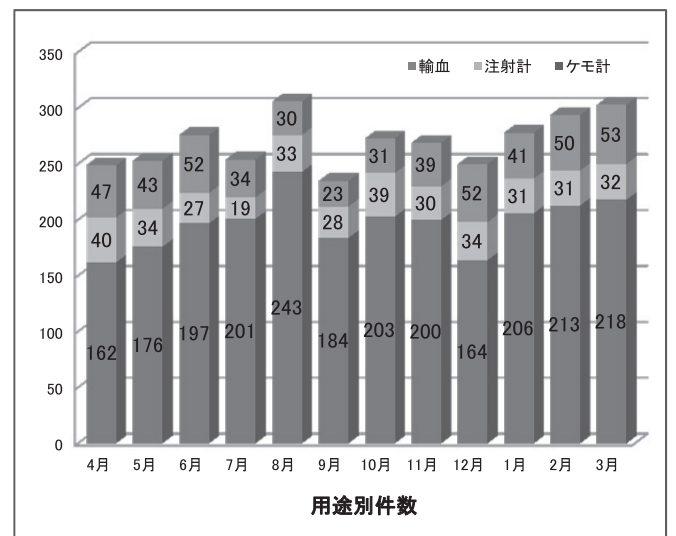
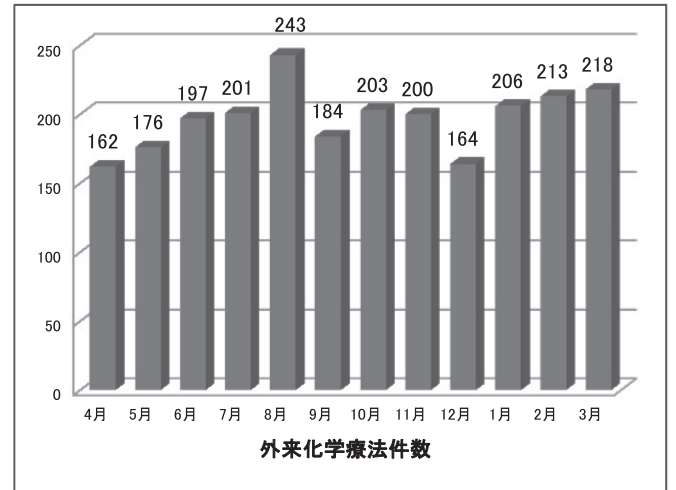
緩和ケアチームでは週一回の病棟回診を行っており、がん性疼痛コントロールや精神的不安等の軽減のため多職種による検討を行ない、方針を決定している。

一実績一

薬剤部からの報告

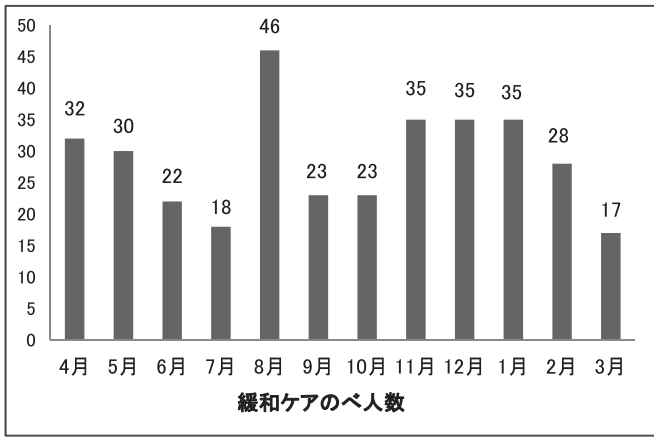
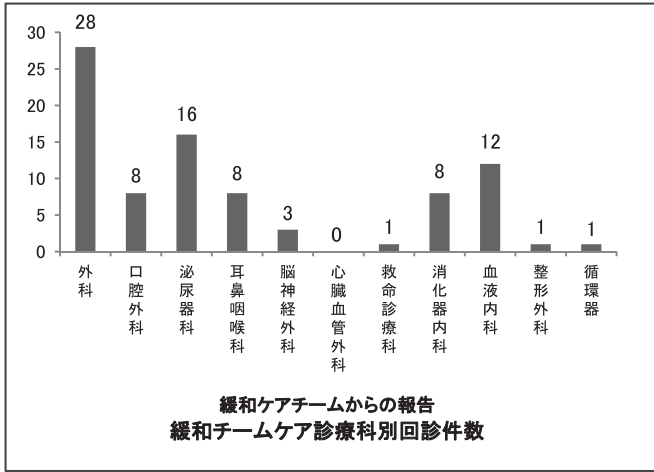
科学療法処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	144	174	169	168	186	163	180	177	170	178	180	190	2079
入院	105	104	136	111	152	113	114	118	106	104	91	116	1370
総数	249	278	305	279	338	276	294	295	276	282	271	306	3449
ミキシング本数	342	396	434	399	513	422	440	430	407	450	380	473	5086



外来化学療法件数(2017年度)

月	外(乳)	外(大腸)	外(胃)	外(肺)	外(他)	外科計	腫	肺内	消内	血内	泌	耳	脳外	口外	腎内	形成	整形	中止	ケモ計	ルーチン	ゾラ	フェノデックス	ソメタ	ランマール	レミテオ	アクテムラ	オレンシア	その他	注射剤	加算計	利	情報	ホートフラッシュ	ホート抜き	点滴	静脈皮下	輸血中止	輸血	カンファレンス	合計
4月	36	33	20	8	0	97	1	0	0	36	2	1	3	5	0	0	0	17	162	9	1	4	4	9	0	2	1	10	40	202	17	17	4	0	0	0	0	47	1	288
5月	42	32	9	14	0	97	4	0	3	44	2	0	5	2	0	0	0	19	176	7	0	5	3	10	0	1	1	7	34	210	12	13	2	0	0	0	0	43	0	280
6月	39	32	17	11	0	99	1	0	2	52	5	3	3	0	0	0	1	31	197	4	1	4	3	12	0	1	1	1	27	224	14	12	4	0	0	0	0	52	0	306
7月	43	27	20	6	0	96	1	2	5	60	4	3	0	0	0	0	0	30	201	3	0	4	2	8	1	1	0	0	19	220	9	8	3	0	0	0	0	34	0	274
8月	48	27	32	2	0	109	0	0	8	63	4	2	5	3	1	0	0	48	243	6	1	3	3	12	0	1	1	6	33	276	12	17	4	1	0	0	0	30	0	340
9月	33	27	26	5	0	91	0	0	7	52	5	2	2	0	0	0	0	25	184	7	0	5	1	8	0	4	1	2	28	212	19	20	2	0	0	2	23	1	279	
10月	48	28	22	8	2	108	2	0	2	62	2	0	4	2	0	0	0	21	203	8	0	8	2	10	2	2	0	7	39	242	11	20	2	0	0	0	0	31	2	308
11月	42	28	25	5	0	100	0	0	3	57	6	1	4	6	0	0	0	23	200	5	0	4	1	12	0	3	0	5	30	230	12	19	3	0	0	1	0	39	2	306
12月	41	27	11	4	0	83	0	0	1	49	3	5	2	2	0	0	0	19	164	4	1	6	6	7	1	4	1	4	34	188	13	19	4	0	0	0	0	52	0	286
1月	43	33	26	8	0	110	2	0	6	51	2	2	3	7	0	0	0	23	206	3	1	8	1	12	1	4	0	1	31	237	22	28	1	0	1	0	0	41	1	331
2月	46	29	31	5	1	112	2	0	5	44	9	2	3	4	0	1	2	29	213	8	1	7	1	12	0	2	0	0	31	244	13	16	4	0	1	1	0	50	0	329
3月	43	39	27	7	0	116	0	0	2	55	5	2	3	0	0	0	2	33	218	5	0	6	0	9	1	4	0	7	32	250	18	22	3	0	0	0	3	53	0	349
月平均						102												197											32	229									306	
合計	504	362	266	83	3	1,218	13	2	44	625	49	23	37	31	1	1	5	318	2,367	69	6	64	27	121	6	29	6	50	378	2,745	172	211	36	1	2	4	3	495	7	3,676



臨床研究状況（一部抜粋）

研究内容
新規乳癌症例を対象とした多重遺伝子検査「Curebest 95GC Breast」を用いた再発予後予測と個別化医療の実施及び入手データを用いた解析を行うための包括同意取得
超音波造影（ソナゾイド）を用いた乳癌のセンチネルリンパ節同定法と転移診断の研究
HER2陰性転移・再発乳がん患者を対象にエリブリンとS1のHealth-related quality of life(HRQoL)を比較するランダム化第Ⅲ相試験
HER2陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法と比較検討する第Ⅲ相臨床研究
乳房領域における超音波検査の客観的診断手法の研究
ホルモン療法剤に感受性を有する閉経後ER陽性HER2陰性転移乳がんに対するエベロリムスの追加効果を検討するランダム化第Ⅱ相臨床試験
胆嚢ドレナージ後の腹腔鏡下胆嚢摘出術の至適時期に関する検討
オキサリプラチン・ペバシズマブによる病勢コントロールが得られた進行再発結腸・直腸癌に対するTAS-102+Bevによる計画的維持投与(Switch Maintenance Therapy)の有効性と安全性に関する検討;多施設共同第Ⅱ相試験
血液中のアミノ酸および代謝物濃度を用いた大腸がんの新規バイオマーカーの開発に関する臨床研究
高度リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する周術期カペタピンオキサリプラチン(CapeOx)療法の第Ⅱ相臨床試験
骨髄不全患者における、PNH型血球割合とPNH関連の臨床症状を経時的にみる観察研究
Japan Atherosclerosis Society Cohort Study 脂質異常症を合併した一次予防患者における動脈硬化性疾患発症に関する観察研究
麻疹、水痘、日本脳炎、およびヒトパピローマウイルスに対する感染感受性疫学調査
日本における頭頸部悪性腫瘍登録事業の実施
ダバグリフロジンの血糖改善効果および脂質代謝などへの影響に関する研究(DAPHNIS study)
当院のERSAを用いた大腸切除バス
高リスク成人骨髄異形成症候群を対象としたアザシチジン投与方法に関する臨床第Ⅲ相試験—検体集積事業に基づく遺伝子解析研究を含む—JALSG MDS212 Studyおよび厚生労働科学研究費補助金による検体集積事業との合同研究
髄液を用いたB細胞性非ホジキンリンパ腫の中樞神経再発予測因子の検討

委員構成

医師 (14名)	診療局次長兼がん治療センター長兼外科主任部長	位藤 俊一
	診療局長兼血液内科部長	鳥野 隆博
	肺腫瘍内科部長	森山 あづさ
	耳鼻咽喉科部長	碓田 猛真
	口腔外科部長	大前 政利
	病理診断科部長兼検査科部長	今北 正美
	周産期センター産科医療センター長兼外科部長	荻田 和秀
	中央放射線部長兼部長兼放射線治療センター長	櫻井 康介
	放射線科部長	稲場 文隆
	膠原病内科部長兼リウマチセンター長	入交 重雄
	呼吸器外科部長	大森 謙一
	泌尿器科医長	児玉 芳樹
	脳神経外科部長	出原 誠
	脳神経外科副医長	井間 博之
看護師 (6名)	外科副医長	東 重慶
	血液内科科長兼輸血部長兼医療安全管理室副室長	福島 健太郎
	外来副看護師長兼急性期ケア推進室	森 沙苗
	外来看護師兼急性期ケア推進室	杉野 幸恵
	外来副看護師長	平尾 美紀
	外来看護師	樋口 紀美子
薬剤師 (2名)	8階海側看護師長	射手矢 奈津子
	6階海側看護師長	高島 麻由美
MSW (1名)	薬剤師部長	森川 紀文
	薬剤科主査	中川 直樹
事務 (3名)	MSW	下村 恭子
	医療マネジメント課	原田 あゆ
	医療マネジメント課	(株)ソラスト 坂田 祐美子

—今年度の成果と反省点—

がんボード検討症例は多職種が参加し適切に検討されているが、がんボード開催頻度を増加させ、より多数の症例に対応することが今後の課題である。

—来年度への抱負—

地域連携をより強固にしつつさらに安全、確実な診断、治療やエビデンス構築に貢献する。